

親和の「ICT 教育支援制度」(緊急支援)について

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大は、学校教育活動に大きな影響を及ぼしました。現在のところ、学校教育活動はほぼ以前の状況にまで回復してきていますが、今後の感染状況は未だに不透明で、学校としても今後の緊急事態にも対応がとれるよう、不断に準備をしていく必要があります。

本校では、この機会に、タブレットによる学習環境を整備し、オンラインによる授業への対応はもちろんのこと、自宅学習、生徒や保護者とのコミュニケーションのツールとしても、更に活用していきたいと考えています。

つきましては、以下のとおり、本校生及び次年度本校に入学する生徒に対して、「ICT 教育支援制度」を設け、緊急的に支援を行います。

オンラインによる授業の提供等があたり前のように言われていますが、この ICT 教育による環境整備は、学校だけでなく、ご家庭にも少なからず費用がかかります。

この支援を通じて、生徒たちが難局を乗り越え、それぞれの希望する進路を実現できますよう、その一助となれば幸いです。

令和 2 年 7 月 7 日

親和中学校・親和女子高等学校

校長 竹内 弘明

○中学生への支援

この秋 (10 月中下旬を予定) に、国の GIGA スクール構想 (一人一台端末整備) による補助を利用し、残りの経費を学校が助成し、中学生全員を対象に、「iPad (カバー付)」を中学卒業時まで無償で貸与します。

(自宅での通信環境はご家庭でご用意いただくこととなります。必要なソフト・アプリケーション等の経費は、教材費から徴収させていただきます。「iPad」とカバーは、中学卒業時に学校に返却していただきます。)

○高校生への支援

今年度のタブレット回線使用料のうち、20,000 円を学校が ICT 教育支援金として助成し (10 月学納金振替時を予定)、保護者の負担を軽減します。

○令和 3 年 4 月入学の新中 1 生・新高 1 生への支援

入学後の ICT 教育等に必要な費用に役立てていただくため、入学後に一律 20,000 円を支援金として助成します。